

# 中の島を訪ねて

続ける文教地区～



平岸中

平岸西小

中の島  
かつら公園



精進河畔公園



精進川の滝



自然に近い流れを取り戻した川辺

札幌の都心から近く、交通の便も良い中の島地区。南北に長いこの地区に沿って流れる精進川は地域に住む人々の大切な憩いの場です。この流れを守ろうと、地域ではさまざまな取り組みを行っています。また、中の島は幼稚園から短期大学までそろった文教地区で、地域と学校の協働の取り組みも盛んです。今回は、精進川と歩み続ける文教地区「中の島」を紹介します。

豊かな自然が再生された精進川

川沿いの精進河畔公園に、一歩足を踏み入れると、風景が一変します。

小さいながら滝が流れ、川岸には植物が茂り、川には魚やカモがいます。まるで郊外の溪流のようです。

ところが、昭和40年代から平成の初めまでコンクリートの護岸と柵に囲われ、人が近づけない川であったことなど想像もつきません。



平成2年頃の精進川 ※1

を誰でも気軽に楽しめるようになったのです。

今では、この流域の自然を

広く知ってもらい、守り続けるための取り組みも盛んです。先日、多くの地元住民が参加した「中の島再発見の旅」では、精進川を探索し、その魅力をあらためて確かめました。

毎年、春には流域の町内会が中心となって、川の周辺の清掃活動が大規模に行われています。

また、町内会や学校、地域の団体で組織する「中の島魅力ある地域づくりの会」と青少年育成委員会の共催でヤマベの稚魚を放流し、豊かな環境を守る取り組みが行われています。

都心に近い中の島にある豊かな自然は、私たちの地域だけでなく、札幌市の宝です。多くの人に訪れてほしいです。



中の島地区町内会連合会理事  
藤岡 喬一さん



ヤマベ（サクラマス）の稚魚の放流



中の島の魅力を探る「中の島再発見の旅」

